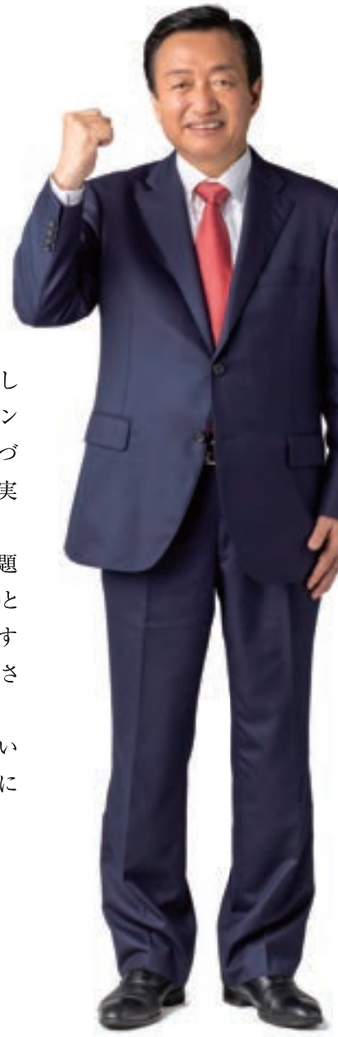
夢と誇り

大西ひでと後援会会報

vol.17

2023年 1月



夢と誇りが持てる 世界都市・高松を目指して

私が高松市長に就任して4期16年がたとうとしています。この間、近隣6町と合併をして、規模も魅力も大きくなった高松市の市長として、長所を最大限に引き出しながらブランドイメージを高めるとともに、全ての市民が住むことに誇りが持て、笑顔が絶えないまちづくりを行うべく、その舵取り役として、誠心誠意職務に邁進してまいりました。そして、着実に評価しうる成果が出てきているものと自負しています。

しかしながら2020年に始まったコロナ禍は、未だ収束が見えてこず、人口減少問題を始めとした諸情勢の行方は予断を許さないところです。ただし、どういう状況になろうとも、市民生活を守り、地域経済を循環させ、子どもたちを健全に育成し、必要とされるすべての人に医療、福祉、介護を届け、あらゆる分野でDXを推進し、コミュニティを維持させていくことが、市政に課せられた重要課題であることは変わりません。

そのような中、私は責任を持って、「夢と誇りが持てる世界都市・高松」を作りあげていくべく、引き続き、高松市の舵取り役としての重責を果たしてまいりたい、との決意をするに至ったところであります。

皆様方のご理解と変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

令和5年正月

高松市長 大西秀人

5選に向けて力の結集を

大西ひでと後援会会長　平田　喜一郎

後援会の皆様方におかれましては、日頃の大西市長への御支援、心より御礼申し上げます。

さて、御案内のように、大西市長は昨年6月15日の市議会で、高松市長選挙への出馬を表明されました。

大西市長は、総務省出身であり、言うまでもなく、地方自治についての知識も経験も豊富な方であります。

市長就任以来、多くの公共施設の整備を始め、様々な施策を遂行してきました。それは、大西市長でなければ、成しえなかった大きな実績であり、その実現力は誰もが認めるところであります。

ここ数年の新型コロナウイルス感染症の対応策にも適切に取り組んでこられましたし、感染症対策という制約がある中でも、着実に成果を上げてこられています。

今、高松市は大変重要な時期にあり、少子・超高齢社会への対応策などが必要であります。加えて、これまで積み上げてきた実績を新たなデジタル関連施策でさらに発展させていくことが重要であり、それを実現できるのは大西市長しかいないと思います。

後援会といたしましてもこれまで以上に支援してまいる所存であります。

夢と誇り　大西ひでと後援会会報 vol.17　令和5年1月20日発行

■編集・発行／大西ひでと後援会　〒760-0062 高松市塩上町10-5 池商はせ川ビル1F　TEL.087-899-7625　FAX.087-899-7624

大西ひでとの主な活動報告2022

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染につきましては、2020年の発生当初から徹底的な対策を講じてきました。引き続き、ワクチン接種の機会を提供するとともに感染防止対策を実施します。

- 相談窓口・PCR検査体制の整備、庁舎・市有施設における感染防止対策の徹底、市有施設の休館・利用制限
- 1人10万円の特別定額給付金、ひとり親等家庭や子育て家庭に対する臨時特別給付金等
- 市税、国民健康保険料等の徴収猶予や減免措置
- 新型コロナワクチン接種本部を設置（令和3年1月29日）
- テナント賃料給付金や宿泊業応援金等

原油価格・物価高騰への対応

ロシアのウクライナ侵攻は、原油の高騰や物価高などをもたらし生活を脅かす事態となっています。市民の皆様に影響が及ばないよう徹底した対策を講じています。（令和4年）

- 学校給食の食材費の物価高騰分を補助するとともに市立小中学校の3学期の給食費を免除
- 住民税均等割のみ課税世帯臨時特別給付金の支給
- 高松市物価高騰等対策緊急支援事業給付金
- 医療機関や福祉施設の物価高騰分を補助
- 公衆浴場施設の燃料費高騰分を支援
- 私立保育所等の物価高騰影響分を支援
- 農業者の肥料高騰分を支援

高松市仏生山交流センター「ふらっと仏生山」落成式　3/1

健康づくりに関する講座やイベントを開催し、市民皆様の健康力向上につながるきっかけの場所となることを目指します。

サンポート高松トライアスロン2022　7/3

コロナ禍で3年ぶりとなった大会に、一般の部やリレーの部の選手たちとともに、私もスターターとして参加しました。

知事・高松市長トップ会談　10/19

就任間もない池田知事と会談を行い、ポストコロナを見据えた観光振興策や子育て家庭への支援などについて意見を交換しました。

2022 後援会活動報告

1月20日
後援会会報“夢と誇り”第16号を発行

全会員に会費納入依頼と併せ送付いたしました。

7月26日
役員会を開催

大西市長が6月市議会定例会で来期の市長選出馬表明をしたことから、役員の皆様に市長自身から報告しました。

10月23日
市長候補として推薦を受けました

自由民主党香川県支部連合会より推薦を受けました。

その後も11月28日に香川県歯科医師連盟、12月2日に高松市歯科医師会、13日には高松市医師会、高松市職員連合労働組合、15日に公明党香川県本部からも推薦をいただきました。

11月20日
臨時役員会・臨時総会を開催

臨時総会では、新役員承認の議案審査のほか、古川国土交通大臣政務官の応援挨拶（内容は本号参照）があり、総会後の懇親会では約2年半ぶりに大西市長と会員が直接懇談することができました。

事務所開設のご案内

2月上旬開設予定

高松市東ハゼ町1−15　中央通り沿い

市政報告会のご案内

3月4日 土

香川県社会福祉総合センター

2023マニフェスト発表予定

詳細が決まりましたら、改めてご案内いたします。

後援会事務所ビル（塩上町）にスローガン看板を掲出しました。

大西ひでと後援会事務所

〒760-0062 高松市塩上町10-5 池商はせ川ビル1階
TEL.087-899-7625 FAX.087-899-7624
大西ひでと後援会　ウェブ検索
http://www.oi-hideto.com/

令和4年 マニフェストの取組状況

令和4年は、これまで取り組んできたまちづくりの成果を基盤とし、国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の趣旨を十分に勘案しながら、「瀬戸内創造拠点都市・高松のさらなる進化」を目指してきました。
現在進行中のマニフェスト 2019 に掲げる 63 の施策の中から、成果を挙げた主な取り組みを紹介します。

1 共生のまちをつくる

医療費助成の拡充
子どもの医療費助成による無料化を入院も含め中学校卒業まで拡充
（令和２年４月～）

2 安全で環境にやさしいまちをつくる

ゼロカーボンシティ宣言
2050年までに、市内の二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すことを宣言
（令和2年12月）

3 健康のまちをつくる

しっぽの森の整備
人と動物が共生できるまちづくりを目指し「しっぽの森」（さぬき動物愛護センター）を開所（平成31年４月）

4 創造のまちをつくる

やしまーるの開設
観光屋島の再生の核となる「やしまーる」（屋島山上拠点施設）をオープン（令和4年8月）

桜御門の復元
城下町高松の顔・シンボルとなる城郭を後世に継承するため桜御門を復元（令和4年7月）

5 未来のまちと人をつくる

教育ＩＣＴの推進
学習意欲向上や情報活用能力育成に向け、小中学校に電子黒板や一人一台の端末などを整備（令和2年4月）

伏石駅の整備
コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり推進のため、ことでん新駅「伏石駅」を開業（令和3年11月）

6 信頼のまちをつくる

働き方改革の推進
働き方に対する意識改革を図るため、イクボス研修を実施して育児休暇所得を促進（令和4年5月）

マニフェスト関連施策の進捗状況

成果目標数	年　度	完了	達成率の算出対象	年度ごとの成果目標ごとの達成率 100％以上	80％以上100％未満	80％未満	算出対象外
82	令和3年度	4	76	41	16	19	2
	令和2年度	2	77	38	19	20	3
	令和元年度	0	79	44	18	17	3

「マニフェスト2019」の成果指標82項目のうち、令和3年度において対象となる項目76項目のうち、80％以上達成した項目数は、4分の3にあたる57項目となっています。

国際ホテルで臨時総会開催　日時：2022年11月20日

2019年6月の実施以来、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止していた大西ひでと後援会総会を11月20日、高松市木太町の国際ホテルで会員約200人の参加のもと開催しました。
総会では、開会の辞の後、衆議院議員で国土交通大臣政務官の古川康氏による講演会を実施。
続いて平田喜一郎後援会会長、大西秀人高松市長が挨拶を行いました。その後、後援会総会の議事を進行し、終了後は懇親会を開き会員同士の親睦を深めました。
ここでは、古川衆議院議員の講演をダイジェストで紹介します。

ダイジェスト

古川康衆議院議員再録

大西君と僕は若い頃は一緒に住んでいたことがある。

当時は、世帯用の職員宿舎ひと部屋を独身者2人で使うことになっていた。津田沼駅からバスで10分、バス停から5分という場所にあったその宿舎に大西君と僕とがひとつ屋根の下で暮らしていた。

平日は霞が関への往復と遅くまでの仕事でヘトヘトになっていたが、週末ともなれば2人で酒盛り。茹でたソーメンを食べながらジャズを聴きつつ日本酒や泡盛を飲んでは大騒ぎ。隣の所帯用の部屋に住んでおられる先輩から、いつもうるさいと言われていた。そんな中でも大西君と僕は明るく暮らしていた。一緒に暮らしていて気持ちの良い男だった。

入省した時から、大西君は同期のホープだった。担当した仕事はまず人事で採用担当。同期の中で1番信頼の置かれている人間が担当することになる仕事だ。その頃から彼は一目も二目も置かれていた。そしてその後は財政課へ。日本の地方公共団体の財政を司る部署。まさに我々の世界の中でど真ん中を歩み始めていた。その後も行った先行った先で仕事をこなしみんなに信頼されてステップを上っていっていただけに高松市長選挙に出るため総務省を辞めることになったときには、みんなびっくりした。役人のトップ、事務次官の道が見えている、と言っても言い過ぎではなかったからだ。

彼から出馬の話を聞いたとき、僕は4年前に役所を辞めて佐賀県知事になっていたが、それでも大西君が出馬すると聞いて、出馬せず総務省に残った方が良いのではないかと思ったくらいだった。

大西君の、高松のために力を尽くしたいという思いは強かった。

市長になってから見事に手腕を発揮、丸亀町の商店街再生は中心商店街の活性化のお手本のようなものだし、サンポートの再開発等も人口約40万人の街に新しい街のコアを生み出そうとしている好事例。

２０２３年のＧ７香川・高松都市大臣会合開催においても大西君の活躍が期待される。

また、大西君は全国市長会の中でも医療や介護の分野のいわば責任者を務めていただいている。医療や介護の制度を持続可能なものにしていくのは大変難しい政策だが、全国の市長の代表として堂々と意見を述べ政策に反映させておられる姿は頼もしい。

今回は無投票とはならない。選挙まで半年を切った今、大西君を応援する後援会の輪をなんとしても広げていただかなければならない。

Profile

ふる　かわ　やすし
古川　康 氏

1958年佐賀県唐津市生まれ。82年に東京大学法学部政治コース卒業後、自治省（現総務省）に入省。97年自治大臣秘書官、98年自治大臣官房地域振興券推進室副室長、2001年長崎県総務部長を歴任。03年に総務省を退職後、佐賀県知事選挙に当選、佐賀県知事就任。14年に佐賀県知事を辞職後、衆議院議員に初当選。総務大臣政務官を経て22年に国土交通大臣政務官に就任、現在に至る。

臨時総会には、大変多くの皆様にご出席を賜り、温かいご支援をいただき、感謝申し上げます。これからも事務局一同後援会活動に力を尽くしていく所存です。
なお当日撮影しました写真ですが、ご希望の方は、後援会事務所までお問い合わせをお願いいたします。　事務局スタッフ一同